

赤塚植物園農業園の運営状況について

1 施設概要

(1) 目的

「観て・育てて・収穫する」をテーマとし、次世代を担う子どもたちに、身近な土地で農とふれあえる機会を提供することで、子どもたちの農業への興味や理解を高める。

(2) 開園日

令和2年5月30日(土)

(3) 面積

1,640.89㎡

(4) 主な施設

体験用農園、見本園(野菜、果樹)、芝生広場、管理棟



現在の状況

2 開園後の運営状況

(1) 農業体験プログラム

開園前に学校・園単位で募集した区立小学生、保育園に、年間を通じ、植付けから収穫までの農業体験を提供するプログラム。

① 参加団体

区立中台小学校(2年生)、紅梅小学校(3年生) 計192名

区立赤塚保育園、赤塚新町保育園、あさひが丘保育園、ゆりの木保育園、紅梅保育園(各年長クラス) 計117名

② 7月末までの実施内容(新型コロナウイルス感染拡大抑制仕様)

時期	内容
5月中旬	【苗床づくり・種まき】 → 中止 農業園で栽培した野菜を区が収穫し、各校・各園に教材や食材として提供(ほうれん草、ソラマメ、スナップエンドウ)
6月上旬	【苗づくり】 → 実施場所変更(出張指導) 各学校・保育園においてサツマイモ及びラッカセイの苗づくりを実施
7月上旬 ~中旬	【苗の植付け】 → 中止(一部実施) 各校・園から回収した苗を区で農業園に植付け(赤塚保育園は、園児が実施。中台小学校はビデオ撮影を行い授業で活用)

教材や食材として提供



各校・各園で苗づくりを実施



畑に植付け



実施状況

③ 8月以降のプログラム内容(新型コロナウイルス感染拡大抑制仕様)

農作物生育状況の定期的報告、来園した園児・児童への管理方法などの説明

(2) 展示等

一般来園者用向けに、説明板にて体験農園の耕作状況等の紹介(生育中の野菜の特徴、観察できる虫など)

3 今後の運営

新型コロナウイルス感染への安全が確保できた段階で下記のプログラムに復帰する。それまでの間は、拡大抑制仕様による運営を継続する。

- ① 秋蒔き野菜(大根、葉物野菜等)農業体験プログラムの実施【10月頃~】
- ② 親子参加区画の導入【10月頃】
- ③ 収穫祭(食育イベント)の実施【11月頃】